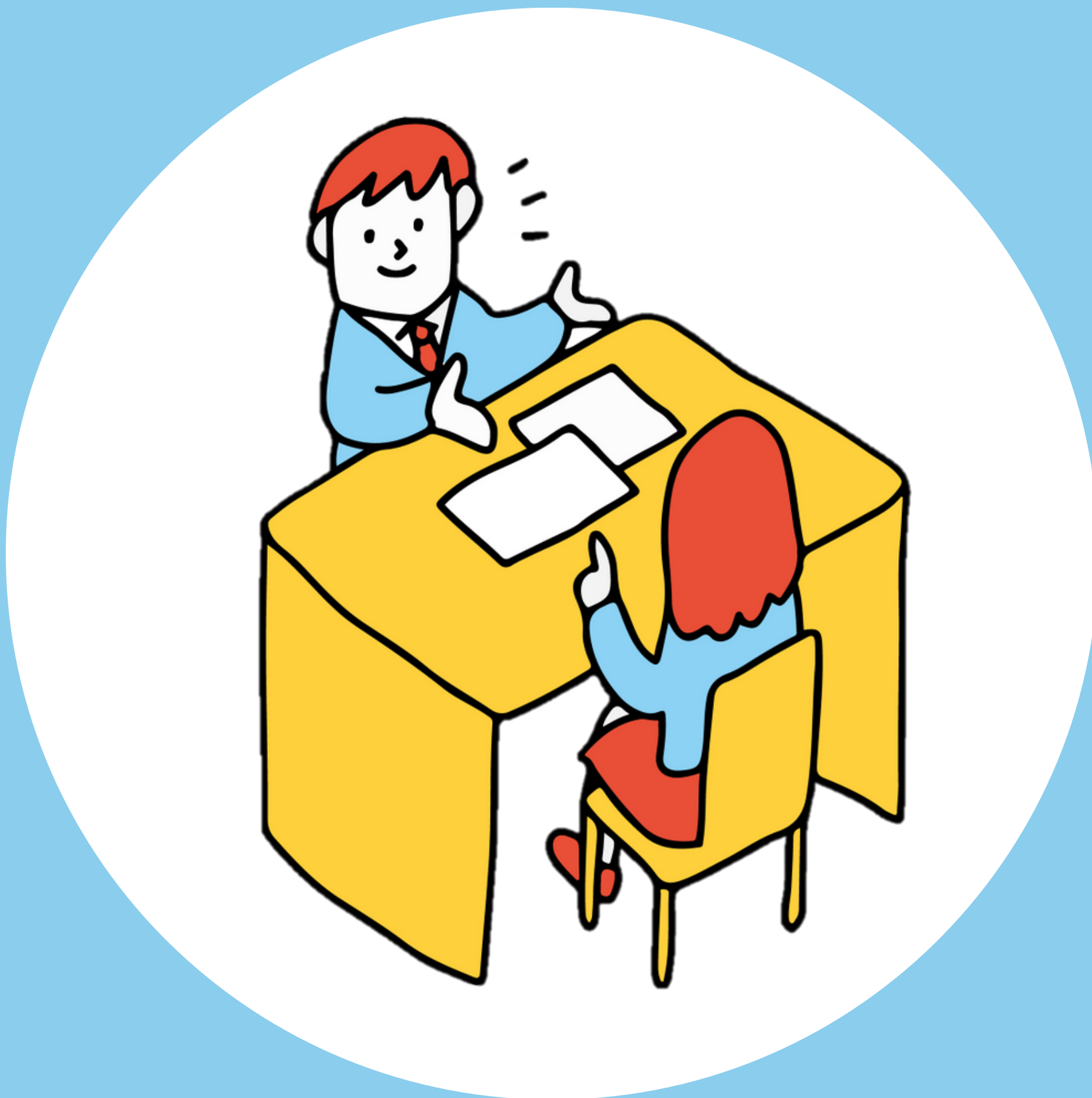


推薦・総合型選抜で
合格を勝ち取る！

志望理由書 面接対策



東京個別指導学院
関西個別指導学院

はじめに

こんにちは。
東京個別指導学院・関西個別指導学院です。
このたびは、
「推薦・総合型選抜で合格を勝ち取る！
志望理由書＆面接対策」
をお読みくださりありがとうございます。

近年、大学入試で
「学校推薦型選抜」や「総合型選抜（旧AO入試）」を
利用した入学者が増えています。

受験生にとって、選抜方式が増え、
大学合格のチャンスが増えることは嬉しいことですし
また、自分自身の個性や特長をいかせる入試であれば
チャレンジしたいと考える方も
いらっしゃるかと思います。

この本では、学校推薦型選抜・総合型選抜で、
合格を勝ち取るための
志望理由書及び面接の対策方法についてお伝えします。

この本が、大学合格のための一助になれば幸いです。



目次

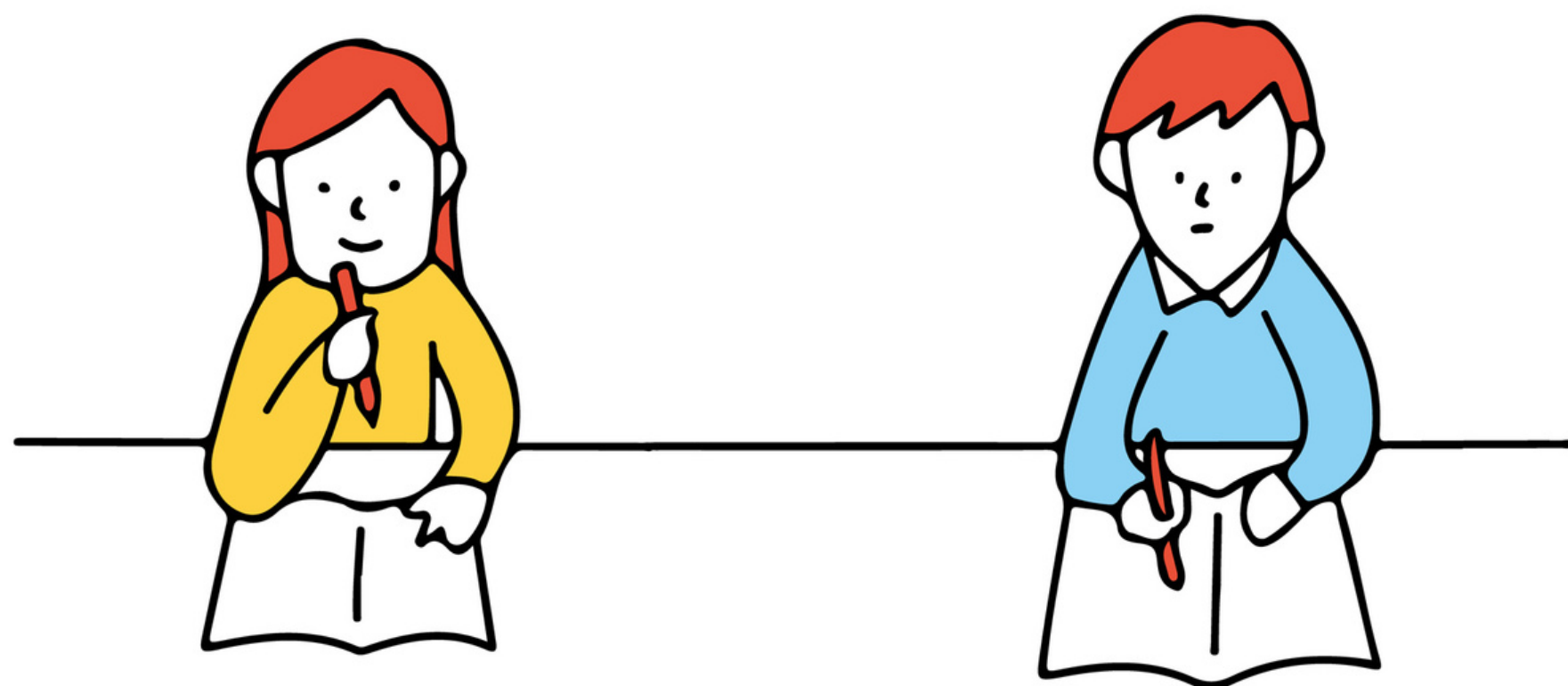
第1章 大学入試の種類

- そもそもどんな種類があるの？ 05
 - ・ 一般選抜
 - ・ 学校推薦型選抜
 - ・ 総合型選抜
- 知っておこう！
増加している推薦系の入試 07

第2章 推薦対策

最初にやることって？

- まずは「志望校」を明確にしよう！ 09
- 志望校が決まっていないときは... 10



目次

第3章

対策しよう！

志望理由書

①志望理由書ってなに？ 11

COLUMN 志望理由書も合否に関わる！？ 12

②合格へのカギは「自己分析」 13

オススメ！自己分析のやり方

自分で自分にインタビューしてみよう！ 14

③志望理由書と自己PRをまとめよう 15

④志望理由書の基本的な構成＆書き方例 17

STEP 1 入学したいという意思表示

STEP 2 志望のきっかけ

STEP 3 大学・学部を選んだ理由

STEP 4 入学後の抱負・やりたいこと

COLUMN オープンキャンパスに参加して
大学・学部をよく知ろう！

STEP 5 将来の職業や展望

第4章

対策しよう！

面接

①面接の形式・質問内容 23

②面接は合否にどのくらい影響する？ 25

③面接当日の流れ 26

④面接に強くなる！ 27

3つのアピールポイント

POINT 1 意欲があるか

POINT 2 適性を持っているか

POINT 3 学生としてふさわしい人物か

目次

第5章

東京個別・関西個別の 推薦対策3つの強み



ココがすごい①

ベネッセグループの情報をいかした指導で
志望校別の対策ができて安心！

32



ココがすごい②

推薦・総合選抜型対策専用講座もあり
自信をもって試験本番に挑める！

33



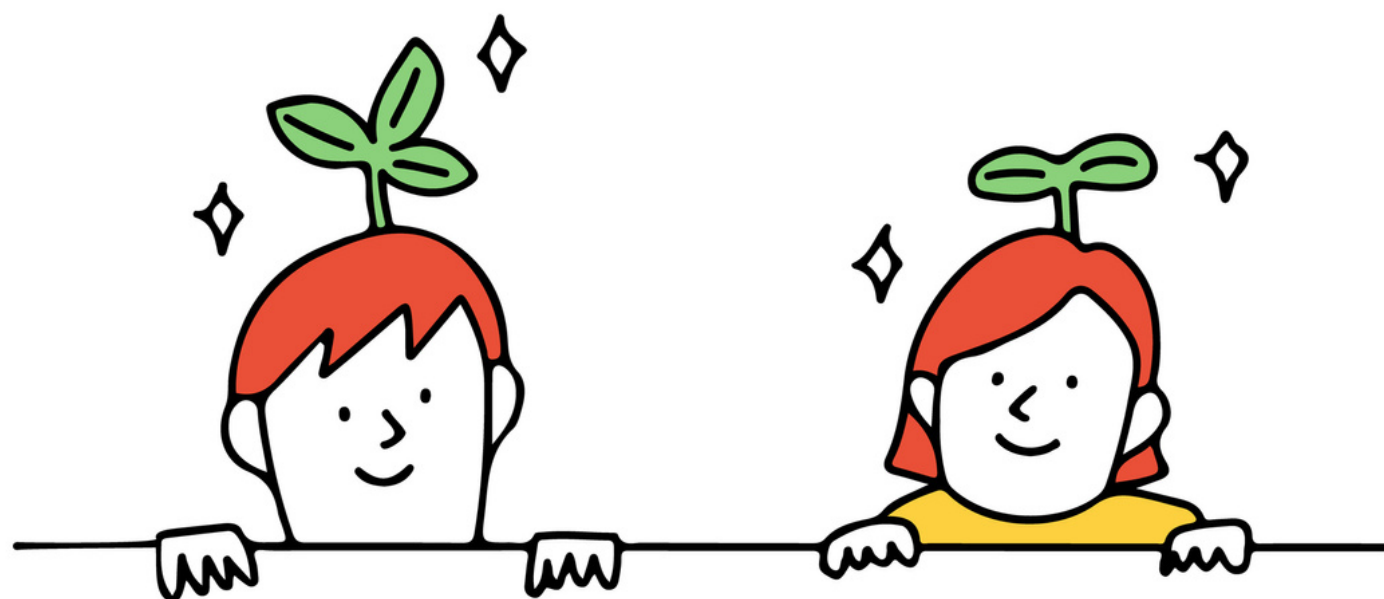
ココがすごい③

学校の勉強をベースに学力アップが狙えるから
評定アップも検定取得も無理なくできる！

34

あとがき

35



第1章 大学入試の種類

そもそも大学受験ってどんな種類があるの？

入学者選抜の形態を大きく分けると、「一般選抜」「学校推薦型選抜」「総合型選抜」の3種類があります。



一般選抜



**総合型
選抜**

**学校推薦型
選抜**



一般選抜

いわゆる“学力勝負”の選抜形態で、試験には「大学入学共通テスト」と大学が各受験生に実施する「個別試験」があります。

特に私立大学の選抜は、「得意科目の配点を2倍にする選抜方式」や「3科目受験した中の高得点2科目で合否判定する選抜方式」など、大学・学部・学科によって多様な選抜方式が用意されています。



総合型 選抜

「総合型選抜」とは、エントリーシートなどの書類選考や面接、プレゼンテーションなどを組み合わせて、受験生の能力・適性や学習意欲・目的意識を総合的に評価する入試方法のことをいいます。総合型選抜では、各大学によって様々な方法で選考が行われています。



第1章 大学入試の種類

そもそも大学受験ってどんな種類があるの？

学校 推薦型 選抜

「学校推薦型選抜」は、通っている高校の学校長からの推薦にもとづいて行われる選抜方式です。「指定校推薦」「公募推薦（一般推薦）」「公募制推薦（特別推薦）」があります。



指定校推薦

各高校に割り振られた推薦枠で大学を受験する方法で、非常に高い確率で合格できますが、枠が限られており、校内選考が過酷になることもあります。

公募推薦 （一般推薦）

大学側の出願条件と高校の推薦条件を満たした人が、学校長から推薦をもらって大学を受験する方法です。条件を満たせば誰でも受験できますが、指定校推薦のような高い合格率にはならないことも多いので注意が必要です。

公募制推薦 （特別推薦）

部活や文化活動などで実績を残した生徒が受験できる方法です。いわゆる「スポーツ推薦」や「文化活動推薦」などのことを指します。

第1章 大学入試の種類

知っておこう！増加している推薦系の入試

受験方法は多様化しており、学校推薦型選抜や総合型選抜を使った入学者は年々増えてきています。
文部科学省の「令和4年度国公立大学・短期大学入学者選抜実施状況の概要」を見ると、ここ近年では私立大学生の半数以上が学校推薦型選抜や総合型選抜での入学者となっており、国公立大学でも約2割がこの入試での入学者となっています。

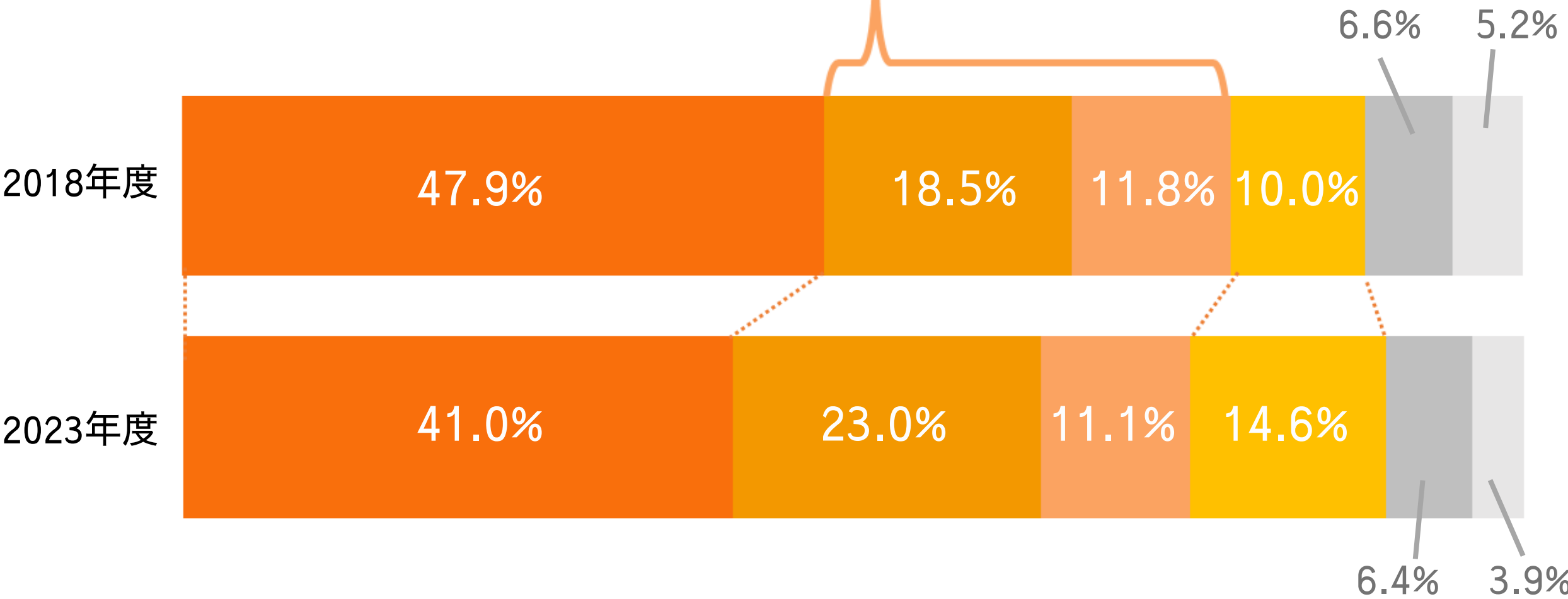
学校推薦型選抜・総合型選抜の入学者は年々増えてきている！



一般選抜
47.9%→41.0%

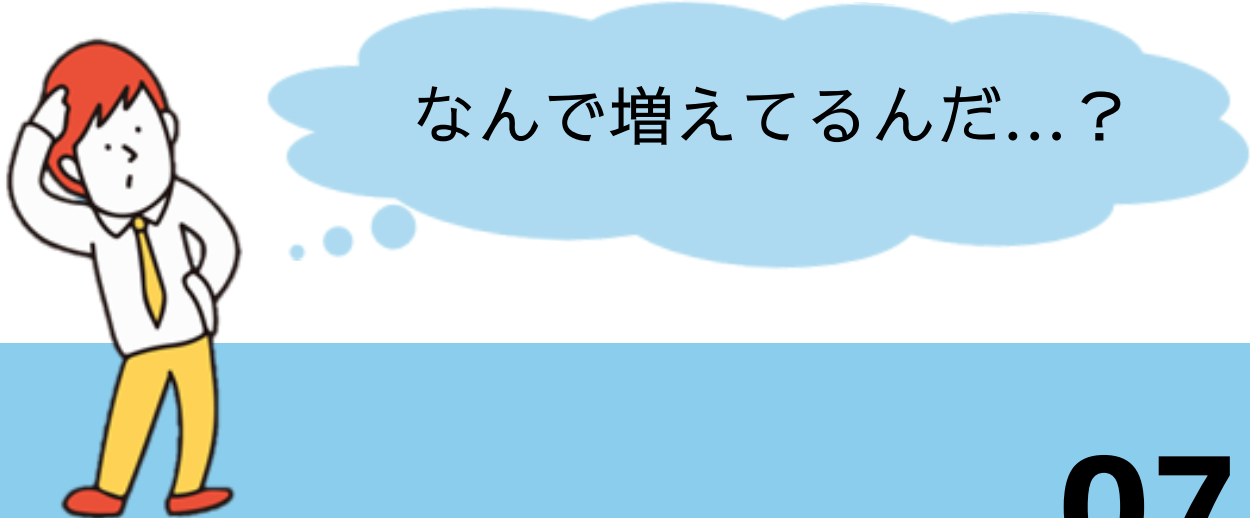
学校推薦型選抜
(指定校推薦＋公募制推薦)
30.3%→34.1%

総合型選抜
(旧AO入試)
10.0%→14.6%



- 一般選抜
- 学校推薦型選抜 (指定校推薦)
- 学校推薦型選抜 (公募制推薦)
- 総合型選抜 (旧AO入試)
- 附属・系列校
- その他

※上記のグラフは、旺文社『大学の真の実力情報公開BOOK』（2018年度、2023年）編集部が、全国の大学からの有効回答を基に算出し、集計したデータを基に東京個別指導学院にて作成。
©2023 東京個別指導学院



第1章 大学入試の種類

知っておこう！増加している推薦系の入試



学校推薦型選抜や総合型選抜での入学者が増えている
2つの理由

理由

①

大学側が
学生の**多様性**を求めるようになったため

教科学力だけではない強みや個性を持った学生たちも含めて学びあい、互いに刺激と活性化をもたらそうと考えたからです。

理由

②

少子化による経営難

一般選抜よりも早く合格が決まるこれらの入試で、早期に学生を確保したいという現実的な背景もあります。

社会や時代とともに変化する大学入試。
学校推薦型・総合型選抜も視野に入れ、
合格のチャンスを広げていきましょう！



第2章 推薦対策

最初にやることって？

まずは「志望校」を明確にしよう！

「よし、推薦を受けるぞ！」と思ったら、まずは志望校を決めましょう。

なぜなら、大学にはそれぞれアドミッション・ポリシーがあり、それにのっとって募集がかけられるからです。

アドミッション・ポリシー

大学が定める「入学者の受け入れ方針」のこと
簡単にいえば「大学が求める学生像」

大学は、「大学が求める学生」を受け入れたいと思っているので、選考内容もそれに即したものになります。そのため、志望校を決めずに対策を始めると、「小論文対策をやっていたけど、行きたい大学の選考内容は学力試験だった」ということも…。

やみくもに対策を始める前に、行きたい大学をしっかりと決めて準備を進めていきましょう。

どの大学を目指すかによって
準備することが違う！

A大学

- ・小論文
- ・口頭試問
- ・面接



B大学

- ・プレゼンテーション
- ・面接



第2章 推薦対策

最初にやることって？

志望校が決まっていないときは…

自分に合った大学がわからない、どうやって志望校を選んでいいのかわからない、という高校生の声をよく伺います。いろんな大学や学部があるので、行きたい大学を見つけるのは大変なことですね。

そんなときは、まず「**自己分析**」をしてみましょう。自己分析のやり方はこのあと説明しますが、自分の興味のあることや将来やりたいことを自己分析で見つけましょう。それから、それが実現できそうな大学を探していきましょう。加えて、大学のホームページを見たり、オープンキャンパスに参加したりして、「ここに入りたい！」という大学を見つけるといいですよ。

どんな大学を見ていいかわからないときは、学校の先生や塾の先生に聞いてもOK。興味があることや将来やりたいことなどを伝え、おすすめの大学を複数教えてもらおうと、興味を持てる大学に出会える可能性が高まるはずですよ。

行きたい大学が見つかったら、対策を進めていきます。今回は、推薦で重要な「志願理由書」と「面接」について、次のページから対策方法を伝えていきますね。



第3章 志望理由書

志望理由書ってなに？

「志望理由書」は、学校推薦型・総合型選抜で必要な書類の1つで、大学や学部への志望理由を大学に対してアピールするための文書です。大学によっては「自己推薦書」「エントリーシート」など呼び方が異なることもあります。

志望理由書に書くことは大きく2つ！

志望理由
300～400字程度

自己PR
600～1,000字程度

ただし、大学によって異なるため、学校推薦型・総合型選抜の募集要項をよく見て確認しておきましょう。

願書は早めに入手しておこう！

志望理由書は願書の中に入っています。願書は、大学のオープンキャンパスや説明会、大学の窓口、大型書店などで入手が可能です。早めに入手し、余裕をもって準備に取りかけられるようにしましょう。



第3章 志望理由書

志望理由書ってなに？

COLUMN

志望理由書も合否に関わる？！

「書類選考で大切なのは調査書じゃないの？」と思っている方も多いかと思います。

たしかに、調査書は選抜の合否に大きな影響を与えますが、「志望理由書」も合否に関係する大切な書類です。

ある大学では、志望理由書の記載内容や文章力を点数づけして評価し、合否判定の総得点に加えています。また、点数化されなくても、合否判定の際に志望理由書の記載内容が参考にされるケースもあります。

作文集の見本をアレンジして志望理由書を作る、ほかの人の志望理由書をまねてみる、というようでは、志望大学に対する熱意が伝わらないばかりか、話のつじつまが合わなくなってしまうかもしれません。

自分の強みや価値観などを紐解く

「自己分析」にしっかり取り組んで、自分だけのオリジナルな志望理由を書き上げましょう。



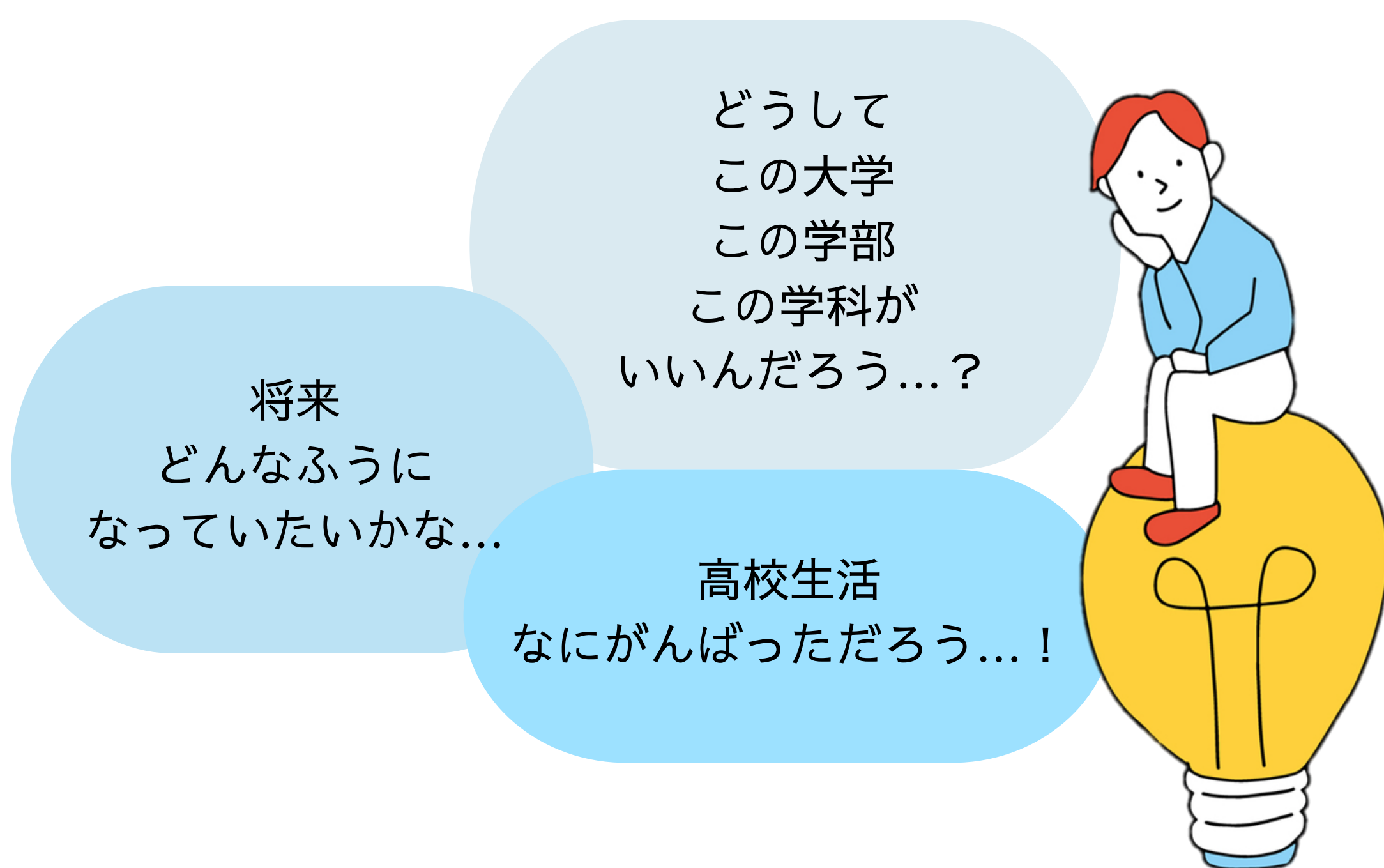
第3章 志望理由書

合格へのカギは「自己分析」

熱意が伝わる志望理由書を作成するためには「自己分析」が必要ですが、自己分析は、自分の志望動機や強みを「面接」で伝えるためにも必要です。

どうしてその大学・学部・学科に入りたいのか、将来の夢は何か、自分が高校生活で学んだことは何かなど、しっかり自分と向き合い言葉にしていきましょう。

書類を書き始める前に、志望理由書・面接対策のどちらでも重要な「自己分析」をしっかり行うことが大切です。



おすすめの自己分析方法は次のページ！

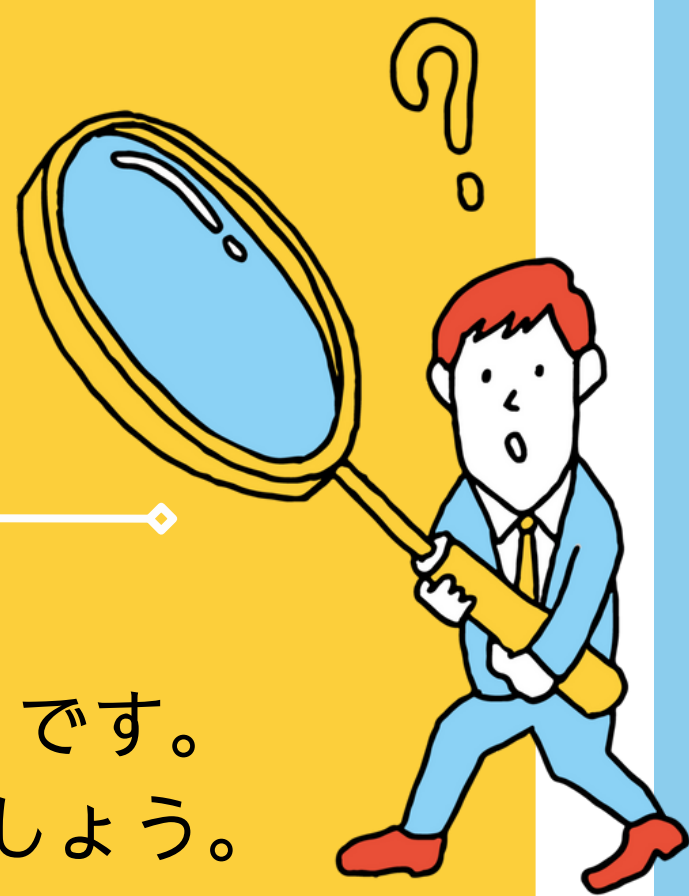
第3章 志望理由書

合格へのカギは「自己分析」

＼おすすめ！自己分析のやり方／

自分で自分に インタビューしてみよう！

自己分析のコツは、
「自分で自分にインタビューしてみる」ことです。
次のような項目を自分に対して質問してみましょう。



- ☑ 長所と短所はどんなところ？
- ☑ 短所はどのように改善しようとしている？
- ☑ 高校生活でいちばん自分ががんばったと思うことは何？
- ☑ 高校生活でいちばん嬉しかったこと、感動したことは何？
- ☑ 志望校のどんなところに魅力を感じたのか？
- ☑ どんな大学生や社会人になりたいのか？
- ☑ 大学入学後やその先の進路で挑戦してみたいことは？

質問の答えを思いついたら
ノートに書き込んでまとめておこう！

それを客観的に読み返して見ることで
自分ならではの強み・長所が見つかりやすくなる◎

第3章 志望理由書

「志望理由書」と「自己PR」をまとめよう

“自分インタビュー”の書き込みを読み返したら、志望理由書に書く「志望理由」と「自己PR」をそれぞれまとめる作業をします。

この段階ではきれいな文章に整えようとしなくても大丈夫です。

それよりも、「**結論から先に伝えること**」と「**自分の言葉でまとめること**」を意識してみましょう。

志望理由書をまとめる

次のような内容を含めてまとめてみましょう。



志望校のどのようなところに魅力を感じているのか？



自分のどんな力を大学生活で活かそうか？



大学やその先の進路でどのようなことに取り組みたいのか？

志望校の特色や魅力、自分の体験や経験はできるだけ具体的に書くように意識してみましょう。



第3章 志望理由書

「志望理由書」と「自己PR」をまとめよう

自己PRをまとめる

次のような内容を含めてまとめてみましょう。

- ☒ 自分の長所、強みは何か？
- ☒ 高校時代に
いちばんがんばったと思う体験は？
その体験からどんなことを学んだ？
- ☒ 自分の強みや体験・経験を、
大学生活のどんな場面で
活かせそうか？

こちらも、具体的に書くことを意識します。
「●年間活動した」「▲▲で■位を獲得した」など、客観的な書き方ができるとベターです。

学習以外の活動（部活や委員会など）
を例にあげる場合は、
活動を知らない人が読んでも分かるように、
より具体的に書いてみましょう。



第3章 志望理由書

志望理由書の基本的な構成 & 書き方例

自己分析を通して「志望理由」「自己PR」がそろったら、いよいよ志望理由書の組み立てに入っていきます。

志望理由書で一般的なのは、以下のような順序にそって内容を書いていくパターンです。

1 入学したいという意思表示

2 志望のきっかけ

3 大学・学部を選んだ理由

4 入学後の抱負・やりたいこと

5 将来の職業や展望



第3章 志望理由書

志望理由書の基本的な構成&書き方例

1 入学したいという意思表示

志望理由書はその大学・学部へ志望する理由を書く書類です。

文章中でも「●●大学▲▲学部への入学を志望する」などの表現を入れて、明確に入学の意思表示をしましょう。

2 志望のきっかけ

次に、志望する大学・学部の学問分野で学びを深めようと考えたきっかけを書いていきます。大学側としても「なぜその学問分野に興味を持ったのか」という点は気になる部分です。はじめに行った自己分析を見返しながら、自分の言葉で書き込んでいきましょう。

例文

私は地域社会について学びたいと考えている。生まれたときから暮らしている地元が好きだからだ。とにかく、地域の人たちの役に立ちたいという思いが強い。



第3章 志望理由書

志望理由書の基本的な構成&書き方例

3 大学・学部を選んだ理由

大学・学部の校風やカリキュラム、制度などに触れながら、その大学・学部でなければならない理由を書いていきます。

志望校に興味を持ったきっかけや、どんなところに魅力を感じているのかを盛り込んでおくのがポイントです。

例文

技術革新の進む分野であるため、専門科目を初年次より学べることはとても魅力的である。基礎科目で広く教養を身につけながら、専門的な知識を修得していきたい。

総合大学であり、デザイン学部・社会学部の講義も受講できることも魅力的だ。社会問題の視点からもアプローチすることで、新たなヒントも得られるのではないかなと思う。



第3章 志望理由書

志望理由書の基本的な構成&書き方例

4 入学後の抱負・やりたいこと

③とも関連する部分ですが、入学後に大学でどのようなことを学んでいきたいのか、大学で学んだことは自分の将来にどう活かせるのか（どう活かそうと思っているのか）という点を書いておきましょう。

COLUMN

オープンキャンパスに参加して 大学・学部をよく知ろう！

大学・学部を選んだ理由を書くには、その大学をよく知っておくことが大切です。

大学案内のパンフレットなどに書いてある情報だけでなく、オープンキャンパスにも参加して、実際に見て・聞いて自分がどう判断したのか、という内容も志望理由書に盛り込めるといいですね。

また、オープンキャンパス当日に聞きたいことが聞けなかったと後悔しないためにも、事前に「聞きたいことリスト」を作成しておくことをおすすめします。

第3章 志望理由書

志望理由書の基本的な構成&書き方例

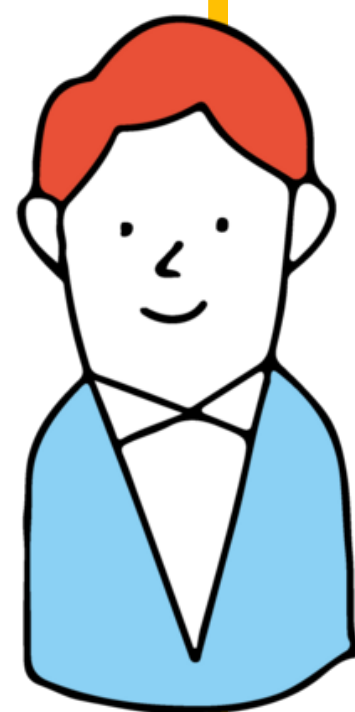
5 将来の職業や展望

最後に、大学卒業後の進路として考えている職業や、さらにその先にある夢・展望を書きましょう。実際に大学を卒業した後に就いている職業は全く別のものになっているかもしれませんが、「現時点で考えている職業」というもので問題ありません。

学問と職業を結びつけるときには、社会貢献の視点を入れてみると良いでしょう。同じ職業でも、「将来の仕事に困らないように」という自分視点ではなく「低迷している地域の経済を活性化させるために」のように言い換えてみると、社会に目を向けられていることもアピールできます。

例文

貴学で、労働法や行政について深く学び、実情を知るためにもフィールドワークにも励みたい。将来は公務員となり、学んだことを卒業後に地域社会に還元していきたいと考えている。



第3章 志望理由書

志望理由書の基本的な構成&書き方例

ここまで、志望理由書の書き方をご紹介しました。
ぜひ一度、手順に沿って志望理由書を書いてみましょう。

実際に書いてみると、「入れる内容はこれで合っているか」「論理的にずれているところはないか」「もっとよくできる部分はないか」など、いろいろ考えてしまいますよね。

志望理由書は、自分の経験をもとに自分自身の志望理由を書くので、人それぞれで内容が異なり、ただひとつの正解というものは存在しません。

そのため、**学校の先生や塾の先生に志望理由書を読んでもらって、添削してもらうのが安心です。**



第4章 面接

ここまでは、志望理由書の書き方をご紹介しましたが、学校推薦型・総合型選抜で志望理由書とともに対策が必要なのが「面接」です。

面接の形式・質問内容

学校推薦型・総合型選抜の面接は、大きく分けて「個人面接」と「グループ面接」の2形式があります。

個人面接



面接官1～3人程度



受験生1人

グループ面接



面接官1～4人程度



受験生2～6名程度

※受験生や面接官の人数はもっと多い場合もあります。

同じ質問にグループ全員が順番に答えていく形式で行われることもあれば、1つのテーマについてグループで討論する形式（グループディスカッション）で進められることもあります。

第4章 面接

面接の形式・質問内容

面接での質問内容

例

志望動機

将来の進路

志望理由書の内容を深掘り

学部・学科の学問分野に関する質問

入試要項に面接形式・質問内容の参考例が
載っていることもありますので、
あらかじめ確認しておきましょう。

面接の当日は、ただでさえ緊張しがちなので、準備不足では自分の思いをしっかりと伝えるのは難しくなってしまいます。当日、落ち着いて面接に臨めるように、しっかりと準備しておくことが大切です。



第4章 面接

面接は合否判定にどのくらい影響する？

A 一般的には
評価を点数化して
合否判定の一部に組み込むケースが多い

※面接の結果をどのように扱うかは大学によって異なります



一般的には
面接官が
各項目を3段階～5段階で評価

詳しい評価基準まで明確に公開している大学はあまり多くありませんが、各大学の入試要項をチェックしたり、塾や学校の先生に尋ねたりしてみてください。

第4章 面接

面接当日の流れ

次のような流れで面接が行われていきます。
あらかじめ頭の中に入れておきましょう。

控室で待機

雑談したり、スマホなどはいじらずに
落ちついて待機します。

ドアをノックし 入室

名前を呼ばれたら大きな声で返事をして、
面接室のドアをノックします。
面接官から「どうぞ」と言われたら、
ドアを開けて入室します。

あいさつ

入室したら
「よろしくお願いします」と一礼。
受験票やその他の書類を
両手で面接官に手渡します。

着席 質問に答える

書類を手渡したら椅子の横に立ち、
面接官の合図があってから着席します。
背筋を伸ばしてアゴは引き、
面接官に視線を向けましょう。

終了

終わったら、椅子の横に立ち
「ありがとうございました」と一礼。
ドアの前で、振り返り「失礼いたします」と
面接官へ一礼してドアを開け、退室します。
ドアは静かに閉めるようにしましょう。

第4章 面接

面接に強くなる！3つのアピールポイント

面接の大まかなイメージや流れはつかめましたか？
ここでは、面接の一般的な評価ポイントをもとに、面接でしっかりアピールしたいポイントを3つ解説します。

POINT 1

意欲があるか

面接では、志望理由書の内容を踏まえて、次のような部分がチェックされます。

- 大学・学部を志望する本気度はどのくらいか
- どんな動機で志望しているのか
- 学問分野に関する背景知識を持っているか
- 大学や学部の特徴を理解しているか

具体的な話を簡潔にできるようにしておこう

話す内容は、志望理由書に書いた内容と**矛盾しない**よう心がけましょう。

面接では、志望理由書をもとに、より具体的な話ができるように準備しておきます。

話す具体例の要点を箇条書きにして「面接メモ」などにまとめておくとよいですね。

第4章 面接

面接に強くなる！3つのアピールポイント

POINT 2

適性を持っているか



面接を通して

- 学問分野に関する適性があるかどうか
- 論理的思考力・学問に継続して取り組む力 など

学問をするのに必要な能力があるかどうか
が評価されます。

グループディスカッションを通して

- コミュニケーション能力や協調性
- リーダーシップ・フォロワーシップなど

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
が評価されます。

学校での「総合的な探究の時間」を大切に

主体的な学びの姿勢・態度は、現在の高校での学習指導要領で身につけていくことができます。

特に「総合的な探究の時間」がスキルを深める大きな機会になるので、どのような成果や学びがあったのか、またそれをどのような過程で生み出すことができたのかを振り返ることが大切です。

第4章 面接

面接に強くなる！3つのアピールポイント

POINT 3

学生としてふさわしい人物か

ポイント①・②でも見られるような積極性・協調性はもちろん、自分の長所短所をよく理解しているか、成長しようと努力しているか、といった

1人の人間としての人柄 が評価されます。

また、社会の中で生きる1人として、

●常識や基本的な教養があるか

●言葉づかい

●服装・マナー

などもチェックされます。



誠実な自分を見せられるようにしよう

緊張で質問をよく理解できなかったり、答えに詰まったりするかもしれません。でも、安心してください。質問を聞き直したり、考える時間をもらえないか申し出たりするのは全く問題ありません。

むしろ、質問の意図をよく理解できていないまま、的はずれな回答をするほうが良くありません。

分からなければ正直に「わかりません」と伝えましょう。

第4章 面接

面接に強くなる！3つのアピールポイント

面接で聞かれる基本的な項目は、多くの大学で似たものですが、具体的な質問内容は大学別に傾向が異なります。

そのため、本格的に面接対策を進める場合には志望大学別の傾向や質問内容が分かっているほうが、より有効な対策ができるので、学校の先生や塾の先生に相談してみましょう。

また、ロールプレイング形式の実践的な模擬面接なども体験しておくで、面接本番で戸惑わずに済みます。

学校推薦型・総合型選抜は、大学・学部と受験生が本当にマッチするかを大学側が判断する入試です。

それは同時に、受験生側でも「本当に興味のある学問分野なのか」「この大学で本当にやりたいことを実現できるか」という目線をもって大学を見る機会でもあります。

自己分析をしっかり行い、志望理由書や面接対策を進めていくことで、大学と自分とのミスマッチを減らしていくことができます。

ぜひ今日から自己分析や志望理由書・面接対策に取り組んでみてくださいね。



推薦対策
一人でやるのは大変そう...

不安に思ったら 東京個別・関西個別を頼ってください！

ここまで読まれた方の中には、「よし、さっそくがんばるぞ！」という方も、「推薦対策が大変そうで不安になってきた...」という方もいらっしゃるかと思います。

推薦・総合型選抜で志望校に合格するためには、自分自身と向き合い、今のことや将来のことを考え、それを言葉にしていく必要があります。それは大変なことですが、決してそれだけではありません。

自分自身と向き合うことで新たな気づきがあったり、本当にやりたいことがわかったりと、よりよい大学生活やその先の進路を送るための手掛かりがきっと見つかるはずです。

東京個別・関西個別は、あなたがあなたらしく生き生きと活躍できる大学生活を送るために、自己分析から一緒に行い、合格力を高めて志望校合格に導く個別指導塾です。

もし、「自分の強みって何だろう？」「どうやって対策したらいいんだろう？」と思ったら、教室にお越しください。

あなたの志望校合格に向けて、精一杯サポートします。



第5章

東京個別・関西個別の 推薦対策 3つの強み

\ココがすごい！①／

ベネッセグループの情報をいかした指導で
志望校別の対策ができて安心！

大学受験は情報戦であり、情報力の差が合否を大きく左右します。東京個別・関西個別では、受験の専門部署が、大学ごとに異なる入試制度や出題傾向など、最新情報を把握し、各教室に進路指導に必要な情報・データを共有。

ベネッセグループの豊富な情報も活用しながら、一人ひとりの志望校、学部学科、推薦方式に合わせた指導をするので、初めての大学受験でも迷わず入試に挑めます。



受験の専門部署が入手・分析した情報を、迅速に各教室に共有できるのは全教室が直営だから。常に自分に必要な指導が受けられるので、合格まで戸惑うことはありません。

東京個別・関西個別の推薦対策の強みについて
WEBで詳細をお伝えしています！

ぜひ、こちらをご覧ください！

<https://www.kobetsu.co.jp/high/recommend/>

第5章 東京個別・関西個別の 推薦対策 3つの強み

\ココがすごい！②／

推薦・総合選抜型対策専用講座もあり
自信をもって試験本番に挑める！

いざ推薦・総合型選抜対策をしようと思っても、何から手をつければいいのかわからないものですよ。東京個別・関西個別には、推薦・総合型対策の専用講座があります。あなたの強みや魅力を伝える志願理由書の書き方から、小論文の添削、面接対策まで行いますのでどうぞご安心ください。また、質問に対して自分なりの意見や考えを述べられるよう、論理的思考力を養うので、入試本番で戸惑うことなく力を発揮できます。



あなたの隣で担当講師が添削指導をするので、修正ポイントがすぐにわかり効率よく力が身につきます。

推薦・総合選抜型対策専用講座の詳細は
こちらをご覧ください！

<https://www.kobetsu.co.jp/high/recommend/>

推薦・総合型選抜(AO入試)対策

志	望	理	由	書	・	面	接
サ	ポ	ー	ト	講	座		

第5章 東京個別・関西個別の 推薦対策 3つの強み

\ ココがすごい！③ /

学校の勉強をベースに学力アップが狙えるから
評定アップも検定取得も無理なくできる！

学校型推薦・総合型選抜での合格を狙うなら早めに対策を始めたほうがいいのですが、忙しい高校生にとっていろんな勉強や対策を同時にやるのは大変なことですよね。

東京個別・関西個別は、学校の教科書や教材を用いた授業を通して、同時に受験に必要な力が身につく指導を実施。学習量を大幅に増やすことなく、さまざまな対策ができるため、やりたいことや部活にも力を注ぎながら、合格可能性を高める準備ができます。

一般的には

それぞれの勉強をしなくては
ならないので量が多くて大変

東京個別・関西個別

学校の勉強をベースに対策可能
なので学習効率がよい！

推薦の準備

学校の勉強

検定の勉強

受験の勉強

↓ ↓ ↓
推薦の準備
+
受験の勉強
+
検定の勉強
+
学校の勉強

あとがき

学校推薦型・総合型選抜は、
一般選抜とは異なる力が問われる入試です。

例えば、「大学の情報を広く集めて、
自己分析をしっかりと行い、整理して文字にすること」
「学校内外で主体的に活動し、
それらを他者にわかりやすく伝えること」
というように、
一般選抜では問われない力が必要になってきます。

だからこそ、周囲の高校生が
まだ動き始めていないうちに、
事前対策に取り組み始めることで、
合格可能性をより高くすることができます。
まずは、自分が行きたいと思える大学を見つけ、
少しずつ準備を始めてきましょう。
また、自分だけの練習が難しい面接・
口頭試問・エッセイ・小論文対策は、
学校の先生や塾の先生の力を借りるのも
一つの手です。

「一人でがんばらなきゃ」と気負わず、
まわりの力も借りながら、
ぜひ志望校合格の夢を叶えてください。

2024年2月
株式会社東京個別指導学院

推薦・総合型選抜で
合格を勝ち取る！

志望理由書 面接対策

東京個別指導学院・関西個別指導学院
公式サイト

<https://www.kobetsu.co.jp/>

© 2024 (株) 東京個別指導学院